

# すぐそばに 電動車がある暮らし。



交通手段の脱炭素化や大気環境のさらなる改善を進めるためには、走行時に排出ガスを一切出さない電気自動車等の「ゼロエミッション車」(ZEV:Zero Emission Vehicle)を中心とした「電動車」の普及が重要です。

そして、ZEVの普及には充電設備等の整備が欠かせません。電気自動車は自宅や職場で充電(プライベート充電)できるという利点がありますが、誰もが安心してZEVに乗れるようになるためにはガソリンスタンドのように手軽に立ち寄れる充電(パブリック充電)設備も必要です。

身近な商業施設等にその設備があれば、買い物や食事のちょっとした間に充電できます。

(参考)30分間充電した場合の走行距離(電費6km/kWhの場合)

- ・普通充電設備(出力4kW)では約12km
- ・急速充電設備(出力50kW)では約150km

## エコドライブ10のすすめ

- 1.自分の燃費を把握しよう
- 2.ふんわりアクセル「eスタート」
- 3.車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
- 4.減速時は早めにアクセルを離そう
- 5.エアコンの使用は適切に
- 6.ムダなアイドリングはやめよう
- 7.渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- 8.タイヤの空気圧から始める点検・整備
- 9.不要な荷物はおろそう
- 10.走行の妨げとなる駐車はやめよう



### 電動車でもエコドライブを!

減速時に早めにアクセルを離してやさしくブレーキを踏み、長い距離をかけてゆっくり停車すると、モーターで発電した電力がバッテリーに充電されます。その電力は次の発進・加速時に再利用されるので省エネ運転となります。

大阪府の電動車普及戦略について紹介しています。

おおさか 電動車普及戦略

[https://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/haigasu/diffuse\\_xEV.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/haigasu/diffuse_xEV.html)



大阪府の充電設備について紹介しています。

大阪府 充電インフラ情報

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/haigasu/infra.html>



大阪府HPでは各種補助金について紹介しています。

大阪府 電動車 補助金

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/haigasu/hojokin.html>



## 大阪自動車環境対策推進会議事務局

(大阪府環境農林水産部 環境管理室環境保全課)

06-6210-9586

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

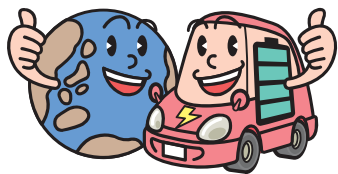
## 「クルマといえば電動車」、それが当たり前の大阪へ!



2030年までにすべての乗用車の新車販売台数に占める  
電動車の割合を90%に!

## 電動車 早わかりガイド

大阪自動車環境対策推進会議

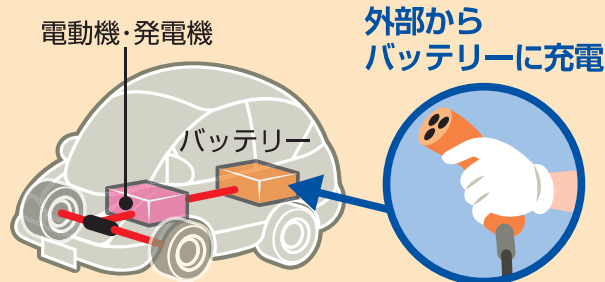


## おおさか電動車

# これが「電動車」です。

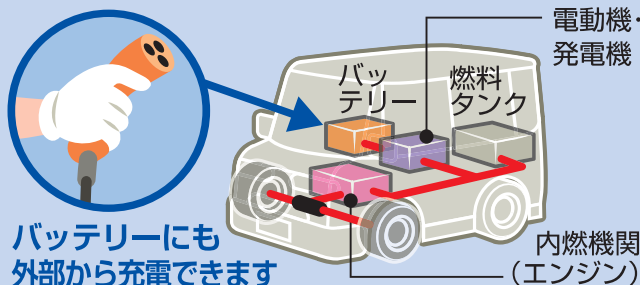
大阪府では、以下の4つを「電動車」としています。そのうち電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)の3つをZEVとしています。

### 充電した電気で走る。 電気自動車 (EV)



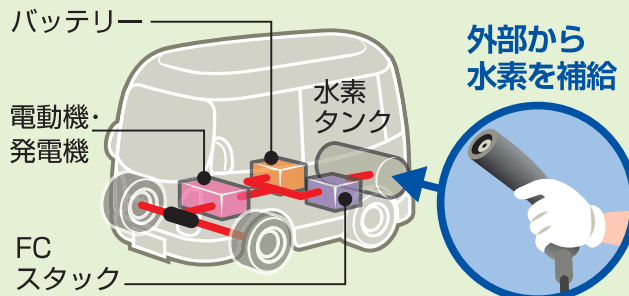
外部の充電器からバッテリーに充電し、蓄えた電気でモーターを回転させて走ります。排出ガスをまったく出さず、騒音も少なく静かです。充電用コンセントを設置すれば、家庭でも簡単に充電できます。

### 充電もできるハイブリッドタイプ。 プラグインハイブリッド自動車 (PHV)



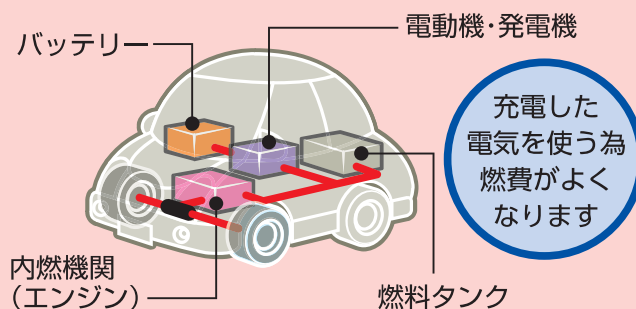
外部から充電できるバッテリーを備え、電気とその他の動力(ガソリンなど)で走ることができます。EV走行モードにすると電気だけで走ることができ、その場合は電気自動車のように排出ガスをまったく出さないのが特徴です。

### 水素で発電した電気で走る。 燃料電池自動車 (FCV)



燃料とする水素を空気中の酸素と化学反応させて生じた電気で走ります。走行中は水しか出しません。航続距離や燃料充填時間はガソリン車と同等で使い勝手がよく、電力を専用装置で取り出せば、非常時の電力源として役立つことができます。

### 2つ以上の動力で走る。 ハイブリッド自動車 (HV)



異なる複数の動力源(エンジンとモーター)の利点を組み合わせて走行することにより、効率よく走ります。排出ガスが少なく、燃費がよいのが特徴です。

## 走るだけじゃないんです!

こんなところも、  
電動車ならではの。

電動車のバッテリーは多くの電気を貯めることができるため、家庭用電源としても活用できます。



### ふだんの暮らしで。

昼間に太陽光発電で電気を蓄えて、その電気を家庭で利用することが可能です。

※V2H: クルマに蓄えた電気を、家庭で使う仕組み



### 災害などに。

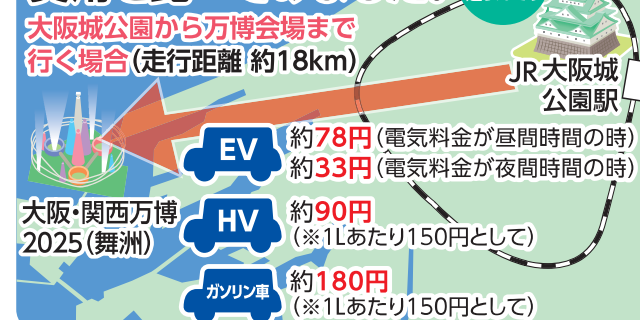
停電時などの際に非常用電源として活用すれば、明かりを灯したり、家電製品を使ったりすることができます。

## 走行時の静かさも魅力

ZEVは、ガソリン車と比べて走行時の騒音が少なく静かです。



## 費用を比べてみました。



(参考)EV(電費:6km/kWhの場合)  
・バッテリーサイズが60kWh、電気料金が1kWhあたり26円(昼間時間)/11円(夜間時間)として  
・1kmあたりの費用:約4.3円/km (26円/kWh+6km/kWh) / 約1.8円/km (11円/kWh+6km/kWh)  
・満充電時の電気料金:約1,600円(走行距離370km) / 約700円(走行距離370km)  
HV(燃費:30km/L(タンク容量40L)の場合)  
・1kmあたりの費用:5円/km(ガソリン価格150円/L+30km/L) 満タン時のガソリン価格:6,500円(走行距離1,200km)  
ガソリン車(燃費:15km/L(タンク容量50L)の場合)  
・1kmあたりの費用:10円/km(ガソリン価格150円/L+15km/L) 満タン時のガソリン価格:7,500円(走行距離750km)